

JFA 第45回 全日本U-12サッカー選手権大会 2021 宮城県大会 帯同審判基本事項

同大会に関する「統一事項文書」内の審判割振り等について、重複する部分も有りますが帯同審判について特化し記載しましたので、参加チームは内容を再度確認し大会に臨んで下さい。

1 予選時の審判割振り（各会場共通）

- 帯同審判についての欄で、奇数チームという表現は、全て対戦表上のチーム（仙台市内チーム）になります。※カテゴリーH 10/31①コート第4試合のみ例外。

例) 10月24日カテゴリーAの第1試合の主審は第2試合の「3番チーム」(仙台市内)、予備審は「4番チーム」(仙台市外)となります。

- カテゴリーABCDの予選4試合は、第1試合を第2試合の両チームが行い、第2試合を第1試合の両チームが行います。主審、予備審は上記で示した「奇数(仙台市内)チーム」より選出し、予備審は「偶数(仙台市外)チーム」より選出します。
- カテゴリーEFGHの予選4試合も同様の順番で行いますが、審判割り当ては、上記の逆になり「偶数(仙台市外)チーム」が主審を選出し、「奇数(仙台市内)チーム」が予備審を選出します。
- ◎ 全カテゴリー共通で、第1試合を第2試合両チームで行い、第2試合は第1試合両チームで行います。第3試合を第4試合両チーム、第4試合を第3試合両チームが行います。その中、両チームで協議し了承を得れば、主審等の変更は可能としました、その際は必ず会場本部に報告して下さい。
- シードチームが存在するカテゴリーでは、主審をシードチームが行い、予備審を会場担当で行います。仙台市内、市外関係なく、シードチームは主審を選出して下さい。

例) 10月31日カテゴリーH第3試合は、主審を「ベガルタ仙台」、予備審を会場担当者で行います。他会場も同様をお願いします。

2 2回戦の審判（カテゴリーにより試合表示が異なる場合があります）

第5試合の審判は第6試合の両チームが行い、第6試合の審判は第5試合の両チームで行います。その際の、主審は数字の小さいチーム、予備審は数字の大きいチームでお願いします。

- ### 3 決勝トーナメント1回戦の審判割振りは予選同様、同じコートの第1試合を第2試合チーム、第2試合を第1試合両チーム、第3、第4以降についても同様に行う。主審は数字の小さいチーム、予備審は大きいチームとする。2回戦以降については抽選会時に連絡いたします。

4 その他

全チーム帯同審判員（有資格者）が必須になります。事前の帯同審判不可による受付は出来ませんので、各チームブロック内で相談するか独自で審判員を要請して下さい。当日突発的な事由による帯同審判対応不可については、大会本部で対応します。但し、申し訳ございませんが有料となり、1試合1名につき「5,000円」納入して頂きます。

その他不明な点については、申し訳ございませんが抽選会代表参加のチーム関係者に直接お聞きするか、競技部長 齋藤までメールで連絡をお願いいたします。

宮城県サッカースポーツ少年団協議会
競技部長 齋藤 繁夫
E-mail snc17571@nifty.com